



HiKu

HIGH POWER POLY PERC MODULE

415/420 W

CS3W-415/420P

主な特徴



従来のモジュールよりも
24%出力アップ



LCOEを最大4.5%削減
システムコストを最大2.7%削減



低いNMOTによる高出力: $41 \pm 3^\circ\text{C}$
低い温度係数 (Pmax): $-0.36\%/^\circ\text{C}$



影の影響を低減する設計



低温稼働により
ホットスポットのリスク低減



マイクロクラックの低減



積雪荷重 5400Pa^{※1}
風圧荷重 3600Pa^{※1}

25年間モジュール出力保証
12年間製品保証

25年
太陽電池モジュール
出力保証

12年
製品保証

最初の1年間は、本製品の実出力が当社の製品仕様書に表示される出力^{※2}の98%を下回らないことを保証します。
2年目から25年目までの期間は、実出力の年次の低下が0.55%を上回らないことを保証します。

※その他、詳細は製品保証書を参照ください。

※2 公称最大出力の公差範囲内の最小許容値

環境認証

ISO9001: 2015 品質マネジメント認証

ISO14001: 2015 環境マネジメントシステム認証

ISO45001: 2018 労働安全衛生マネジメントシステム認証

品質認証

IEC 61215 / IEC 61730

世界シェア第四位^{※3}の高い信頼性

カナディアン・ソーラーは高効率の太陽光発電システムソリューションとサービスを世界中のお客様に提供しています。2001年にカナダで創業以来、高い技術力と信頼性で世界150ヶ国でおよそ55GW以上の採用実績を誇り、製品の品質・価格・性能比においてお客様満足度No.1の大手PVプロジェクト開発者および製造業者として選ばれています。

※3 PV Integrated Market Tracker © IHS Inc.

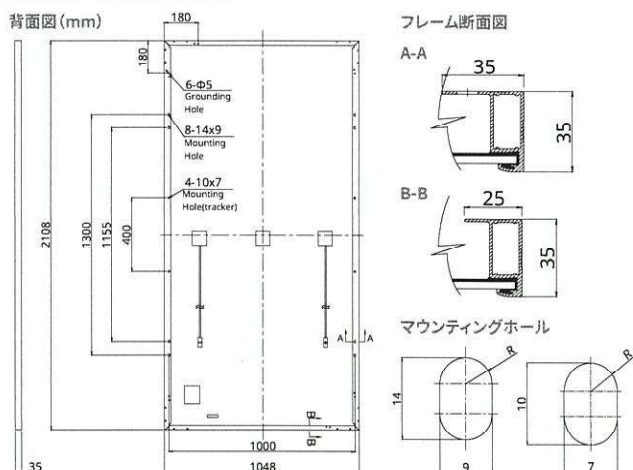
※1 カナディアン・ソーラーにて規定された方法で取り付けた場合に限り。
詳しくはカナディアン・ソーラー太陽電池モジュール取扱説明書(インストレーションマニュアル)をご参照ください。

CSI Solar Co., Ltd. 199 Lushan Road, SND, Suzhou, Jiangsu, China, 215129, support@csisolar.com

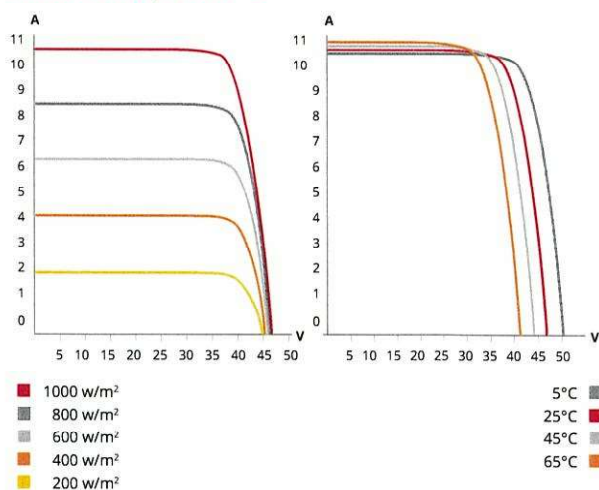
<https://csisolar.co.jp>

カナディアン・ソーラー・ジャパン株式会社 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 ラウンドクロス新宿5丁目8階 Tel: 03-5291-8591 (代表)

モジュール製品図面



CS3W-420P / I-Vカーブ



ELECTRICAL DATA | STC

電気仕様 CS3W	415P	420P
公称最大出力 (Pmax)	415 W	420 W
公称最大出力動作電圧 (Vmp)	39.3 V	39.5 V
公称最大出力動作電流 (Imp)	10.56 A	10.64 A
公称開放電圧 (Voc)	47.8 V	48.0 V
公称短絡電流 (Isc)	11.14 A	11.26 A
モジュール変換効率	18.8 %	19.0 %
モジュール温度範囲	-40 °C ~ +85 °C	
最大システム電圧	DC1500 V	
最大直列ヒューズ定格	20 A	
適用等級	Class A	
火災安全等級	Class C	
出力公差	0 ~ +10 W	

AM1.5日射強度1000 W/m²、セル温度25°C (標準試験条件 (STC)) の時の値

ELECTRICAL DATA | NMOT

電気仕様 CS3W	415P	420P
公称最大出力 (Pmax)	310 W	314 W
公称最大出力動作電圧 (Vmp)	36.7 V	36.9 V
公称最大出力動作電流 (Imp)	8.45 A	8.51 A
公称開放電圧 (Voc)	45.0 V	45.2 V
公称短絡電流 (Isc)	8.98 A	9.08 A

AM1.5日射強度800 W/m²、周囲温度20 °C、風速1 m/s (公称モジュール動作温度 (NMOT)) の時の値

MODULE | MECHANICAL DATA

機械仕様	
セルタイプ	多結晶
セルの配列	144 [2 × (12 × 6)]
外形寸法	2108 × 1048 × 35 mm
質量	24.3 kg
フロントカバー	3.2mm 強化ガラス
フレームの材質	アルマイト処理アルミニウム
J-ボックス	IP68、3バイパスダイオード
ケーブル	4 mm² / 1400 mm 縦置き設置向け500 mm (+) / 350 mm (-) のオプションあり
コネクタ	T4

TEMPERATURE CHARACTERISTICS

温度特性	
温度係数 (Pmax)	-0.36 %/°C
温度係数 (Voc)	-0.28 %/°C
温度係数 (Isc)	0.05 %/°C
Nominal Module Operating Temperature (NMOT)	41 ± 3 °C

パートナー記入欄

※当データシートに記載された仕様は予告なく変更される場合があります。※当データシートについては、無断で複製、転載することを禁じます。 注意: 製品の使用に際しては、事前に安全と設置に関するマニュアルをご一読ください。
※当データシート裏面に記載している図面はイメージ図です。詳しくは当社「太陽光発電モジュール仕様書」にてご確認ください。

お取引先各位



カナディアン・ソーラー・ジャパン株式会社

製品事業部

2023年12月15日

太陽電池モジュール製品のマンセル値について

弊社太陽電池モジュールのマンセル値について、マンセルシステムによる色彩の定規（拡充版）（監修：財団法人日本色彩研修所、発行：日本色研事業株式会社）にて弊社が定めた参考値を以下に記します。

種別	製品型式名	マンセル値 「色相 明度 / 彩度」
単結晶	全型式	N2 ~ 5PB 2/2
多結晶	CS6P-P, CS6P-PT, CS6P-PX, CS6X-P, CS6S-P, CS6V-P, CS6A-P	5PB 2/2 ~ 5PB4/6
	CS3K-P, CS3K-P-AG, CS3K-PB-AG, CS3K-PB-FG, CS3K-P-FG, CS3L-P, CS3U-P, CS3U-P-AG, CS3U-PB-AG, CS3U-PB-FG, CS3U-P-FG, CS3W-P, CS3W-PB-AG, CS6K-P, CS6K-P-AG, CS6K-P-FG, CS6U-P	5PB3/2 ~ 5PB5/4

※ フレーム単体のマンセル値については以下の通りです。

- ・シルバーフレーム：N8.5
- ・ブラックフレーム：N1

以上

太陽電池モジュールの反射防止及び、眩しさ防止の対策・効果について

太陽電池モジュールは受光した太陽光エネルギーを電気に変換する装置です。

太陽電池にとって、光の反射を減らすことは太陽光エネルギーの変換効率の向上に直結するため、カナディアン・ソーラーでは、光の反射を減らし、尚且つ眩しさを防ぐために様々な対策を実施しております。

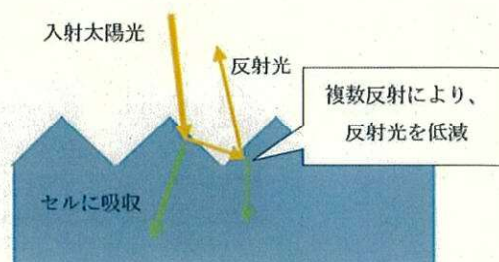
1) セルレベルでの反射防止、眩しさ防止対策

A) テクスチャー加工

セルの表面に光の反射を減らし、乱反射させるテクスチャー層が加工されています。この加工により受光した光を乱反射させ、少しでも多くの光をセル内部に吸収することができます。



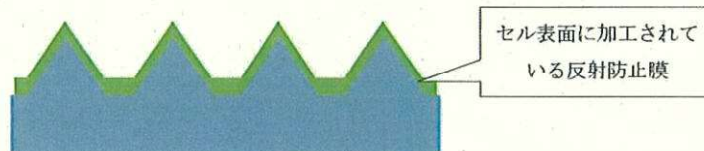
(太陽電池セル表面テクスチャー加工イメージ)



(セルの表面構造により複数反射のイメージ)

B) 反射防止膜

上述のセル表面テクスチャー層の上に、光の反射を抑える反射防止膜が加工されており、光の反射を更に減少させ、光の吸収率をアップさせます。



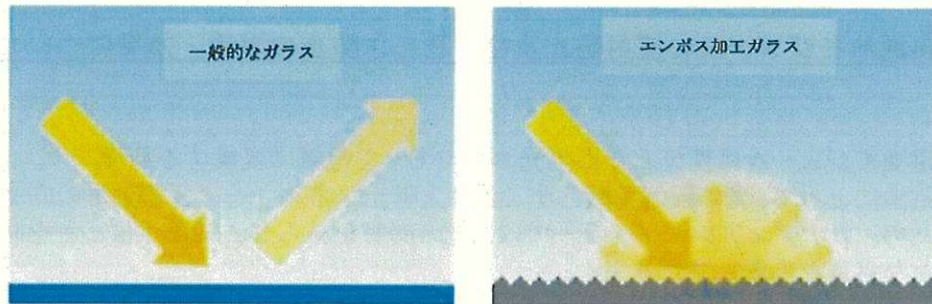
(セル表面の反射防止膜イメージ図)

2) モジュールレベルの反射防止、眩しさ防止対策

太陽電池における光の反射は、ほぼ表面ガラスで発生するため、反射防止、眩しさ防止のために、ガラスについても特殊な加工が施されています。

A) ガラス表面のエンボス加工

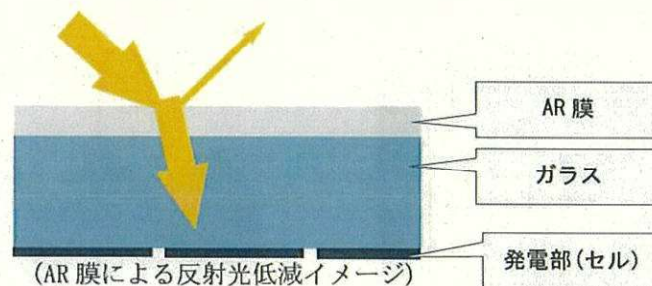
ガラスの表面にエンボス加工を施し、凹凸形状を形成することで、受光した光を色々な方向へ乱反射させることができます。この特徴により、モジュールの反射の眩しさを低減することができます。



(一般的なガラスとエンボス加工ガラスの乱反射イメージ比較)

B) ガラス表面のAR膜加工

受光した光を乱反射させるだけでなく、反射光自体を低減することも有効な対策となり、その実現のため、ガラスの表面にAR膜という反射防止膜が加工されております。



以上

Always Available for Highest Yields



パワーコンディショナ

SUN2000-50KTL-JPM0

高効率

98.9%

最大変換効率98.9%

6
MPPT

革新的な6回路独立の
MPPT(マルチピーク追従
アルゴリズム)

安全性

PID
(option機能)

モジュールのPID劣化現象に対応し、
能動的に感電防止と隔離を実現

ヒューズ
レス

ヒューズレス仕様により、
直流側の火災リスクを回避

スマート

12
回路

12回路ストリングの
高精度な計測で、
原因特定時間を短縮

IV診断

IVスマートスキャンに対応
し、モジュールの故障タイ
プを遠隔診断

信頼性

IP65

自然放熱のファンレス設計、
IP65防水防塵保護等級

防雷
保護

内蔵型の交流・直流避雷器 (SPD)
ユニットにより、雷サージから
機器を保護



華為技術日本株式会社

技術仕様



品名		SUN2000-50KTL-JPM0
入力 (DC)	最大入力電圧	1,100V
	最大入力電流 (各MPPT)	22A
	最大短絡電流 (各MPPT)	30A
	起動電圧	200V
	MPPT電圧範囲	200V～1,000V
	定格入力電圧	640V@420Vac, 670V@440Vac, 720V@480Vac
	最大入力回路数	12
	MPPT回路数	6
出力 (AC)	相数	三相3線式
	定格出力	50,000W
	最大皮相電力	55,000VA
	定格出力電圧	242.5Vac@420 Vac, 254Vac@440Vac, 277Vac@480Vac
	定格出力周波数	50Hz/60Hz
	定格出力電流	68.8A@420V, 65.7A@440V, 60.2A@480V
	定格力率	0.99以上
	力率設定範囲	-0.8～0.8設定可能
効率	出力電流歪み率	<3%
	最大変換効率	98.9%
	連系保護	OV、UV、OF、UF
	単独運転検出: 受動的方式	対応
保護	単独運転検出: 能動的方式	対応
	出力過電流保護	対応
	FRT要件	FRT要件 (2017) 対応
	逆接続入力防止	対応
	ストリング故障検出	対応
	直流サージ保護	Type II
	交流サージ保護	Type II
	絶縁抵抗検出	対応
表示・通信プロトコル	RCMU検出	対応
	表示	Bluetooth®+アプリ
	LED	運転状態表示灯
	RS485	対応
その他	USB	対応
	サイズ (幅×高さ×奥行)	1,075×555×300 mm (本体のみ)
	質量	70kg (本体のみ)
	使用環境温度	-25℃～60℃
	冷却方式	自然放熱
	設置場所の標高 (海拔)	4,000m以下
	相対湿度 (結露なし)	0%～100%
	入力端子	アンフェノールHH4
	出力端子	防水型PGヘッド+OT端子
	防水防塵保護等級 (JIS)	IP65
	夜間待機電力	≤2W
	絶縁方式	トランスレス
保証期間	騒音レベル	≤55dB
	保証期間	5年標準 (10/15/20年オプション)
準拠規格	規格&規定	EN/IEC62109-1、EN/IEC62109-2、IEC61727、IEC62116、JEAC9701-2010、JEAC9701-2012

注: 本カタログはドラフト版で、記載内容・製品仕様は予告なく変更する場合があります。



ファーウェイ・ジャパン
華為技術日本株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー12階
代表電話番号 03-6266-8051
inverter_japan@huawei.com
www.huawei.com/solar



御納入先 埼玉県東松山市大字亀ノ甲3130-4他ノテ発電所 殿

図面番号	盤名称	内容
KD02304-05	盤製作仕様書	製品規格
KD02304-05-01	屋外ケーブル	外形図、内部機器配置図
		単線結線図
KD02304-05-02	交流集電盤1	外形図、内部機器配置図
	交流集電盤2	単線結線図

㊦ 工 藤 電 設 株 式 会 社

※塗装色(指示なき場合)
屋外色 5Y7/1(半ツヤ)
屋内色 2.5Y9/1(半ツヤ)とする。

3. 通電部

- (1) 工事設計圖及び特別仕様書
- (2) 日本産業規格 (JIS)
- (3) 日本電機工業会標準規格 (JEM)
- (4) 日本規格調査会標準規格 (JEC)
- (5) 電気設備技術基準
- (6) 内線規程 (JEAC 8001)

2. 構造

- 2.1 良質な材料で構成し、各部は容易にゆるまず、丈夫でかつ、耐久性に富み、機器の保守、点検、修理などが容易なるものとし、安全を充分考慮します。
- 2.2 配管等仕様

構 成 部	鉄板の厚さ(単位mm)		備 考
	屋 内	屋 外	
側面板	1.6以上	2.3以上	
底板	1.6以上	2.3以上	
屋根板	1.6以上	2.3以上	屋内は、天井板
仕切板	1.6以上	2.3以上	
扉、前面板	1.6以上	2.3以上	
基盤	2.3以上	2.3以上	

ステンレス鋼板の場合1.2mm以上とします。

- 2.3 接地端子はM8×2ヶ取付を標準とします。(ボルト頭部緑色)
2.4 屋外用計器窓は納入リガラスとし、雨水のたまらない構造とします。
2.5 開いたドアは固定できる構造とします(屋外型キュービクルの場合)
2.6 配電盤には底板を設け、必要な場合は底板なしでもよいとします。(屋外型キュービクルの場合)
2.7 盤の扉にはハンドルを取付けます。鍵付を標準とし、ただし盤内部の扉については鍵なしと致します。
2.8 制御機器の配列と色別
(1) 配電は、JIS G 0601によります。

- (2) 表示灯のレンズの色は、下記とします。
- | | |
|-------------|-------------|
| 電源表示――白 (W) | 運転表示――赤 (R) |
| 停止表示――緑 (G) | 故障表示――橙 (O) |
- (3) 操作開閉器の押印等の色は、下記とします。
- | | |
|--------------|--------------|
| 押印スイッチ(入)――赤 | 押印スイッチ(切)――緑 |
| セレクトスイッチ――黒 | 制御スイッチ――黒 |

3.1 濾体サイズ

主回路配線に使用する銅帯及び絶縁電線のサイズは、電気設備工事共通仕様書の「銅帯又は銅棒の電流密度」、「電線の許容電流」の各表に基製作致します。ただし最小電流容量は30A以上とします。

3.2 導体の配列と色別

- (1) 低圧三相回路又は単相三線回路より分岐する単相二線回路は分岐前の色別とします。
- (2) 三相交流の相は、第1相・第2相・第3相の順に相回転するものとします。
- (3) 相配列は、左右の場合は左から上下の場合は上から、遠近の場合は近い方からとします。
- (4) 高圧絶縁電線は黒色の電線を使用し端末にて右表の色別とします。

・主回路の色別は下記の通りとします。

回路の種類		相色列 (左・上・近い方より)
交流低圧	三相3線	R (赤) S 接地 (白) ・ 非接地 (黒) T (青)
	三相4線	R (赤) S (黒) T (青) N (白)
	単相2線	200V R (赤) T (黒) 100V R (赤) 又は (黒) N (白)
	単相3線	R (赤) N (白) T (黒)
直流	DC	P (赤) N (青)
接地側		E (緑)

3.3 電線の被覆色

・電線の被覆色は下記の通りとします。

	回路の種類	被覆色	使用電線
主回路	高圧回路	黒	高圧用引下絶縁電線 (PDC) 高圧機器内配線用電線 (KIP) 又は銅帯
	低圧回路	黒、黄	600V難燃性ポリフレックス絶縁電線 (WLFQ) 又は600V耐燃性*ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
	交流制御回路	黄	600V耐燃性*ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
	直流制御回路	青	600V耐燃性*ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
	P T 2 次側回路	黄 赤	600V耐燃性*ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
	C T 2 次側回路	黄	600V耐燃性*ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
	接地線	緑	600V耐燃性*ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)

・電線の太さは下記の通りとします。

回路	電線の太さ
一般制御回路	2 mm ²
変成器2次回路	2 mm ²
小勢力弱電回路	0.75 mm ²

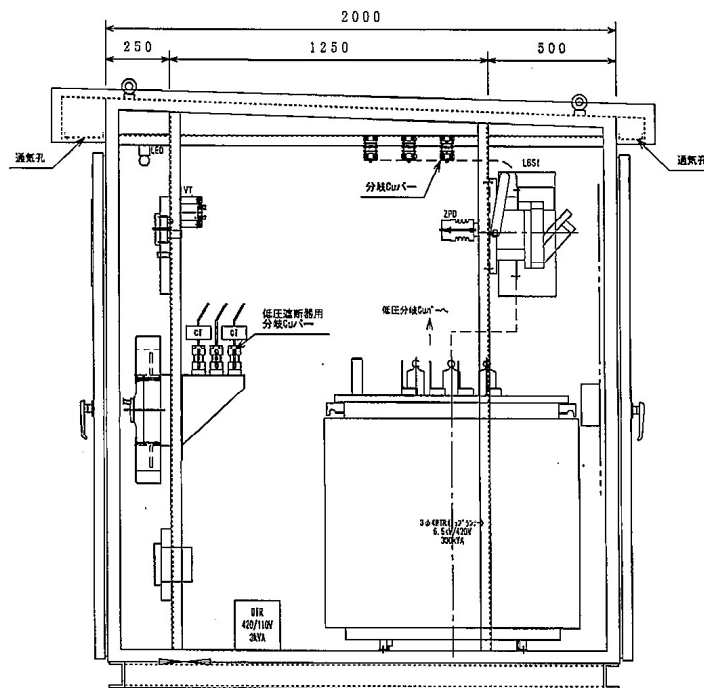
(キュービクル以外の低圧盤は 1.25mm^2)

3.3 接縫部

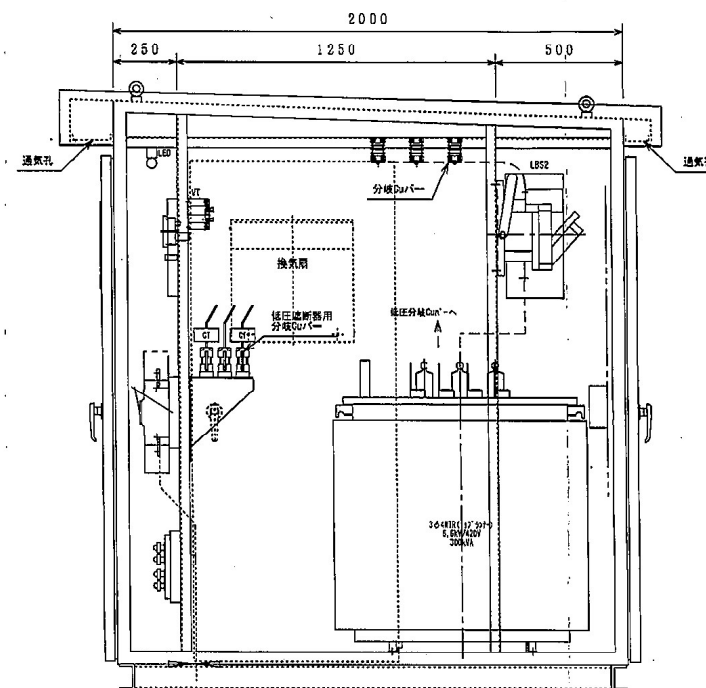
- (1) 主回路導体の接続部には、締付け確認のチェックマークを付けます。
- (2) 変圧器と銅帯との接続には、可とう導体を使用するか又は、電線を可とう性を有するように接続します。
- (3) 制御線には、熱縮性マークチューブを取付けます。

型式	ハンドル	塗装色	製 国	設 計	検 査	承 諾	納入先 埼玉県東松山市大字亀ノ甲3130-4他ソー発電所		品名	製作仕様書	数量	面	
本体		外面	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	尺度	製図年月日	㊦ 工藤電設株式会社	図面番号	KD02504-04	ページ	
扉		内面					/	2025/4/7					2/3
中板		単位 mm 第三角法											

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
	使用機器一覧表(1)																		
	盤名称	記号	品名	メーカー	型式	仕様													
	高圧受電盤	DS	断路器	富士	7.2kV 400A V-4 単極単投														
		VT	計器用変圧器	三菱	PD50-HF 6600/110V 50VA														
		LF	筒型ヒューズ	サトー	F4000-A														
		VTT	電圧用試験端子	不二	KTT-VW3 7'5kV KTQ-V3														
		CTT	電流用試験端子	不二	KTT-AW3 7'5kV KTQ-A3														
		OCR	過電流継電器	富士	QHA-0C1														
		MM	マルチメータ	パナソニック	XS2-110-995-000-11														
		VCB	高圧真空遮断器	富士	HA12AC-H1 600A 定格遮断容量12.5kA														
		CT	変流器	三菱	CD-25NB 75/5A 25VA n>10														
		GN・RD	表示灯(緑)(赤)	マルヤス	A221LTSB LED														
		CTD	コンタクト引き外し装置	富士	VCB-T1PB														

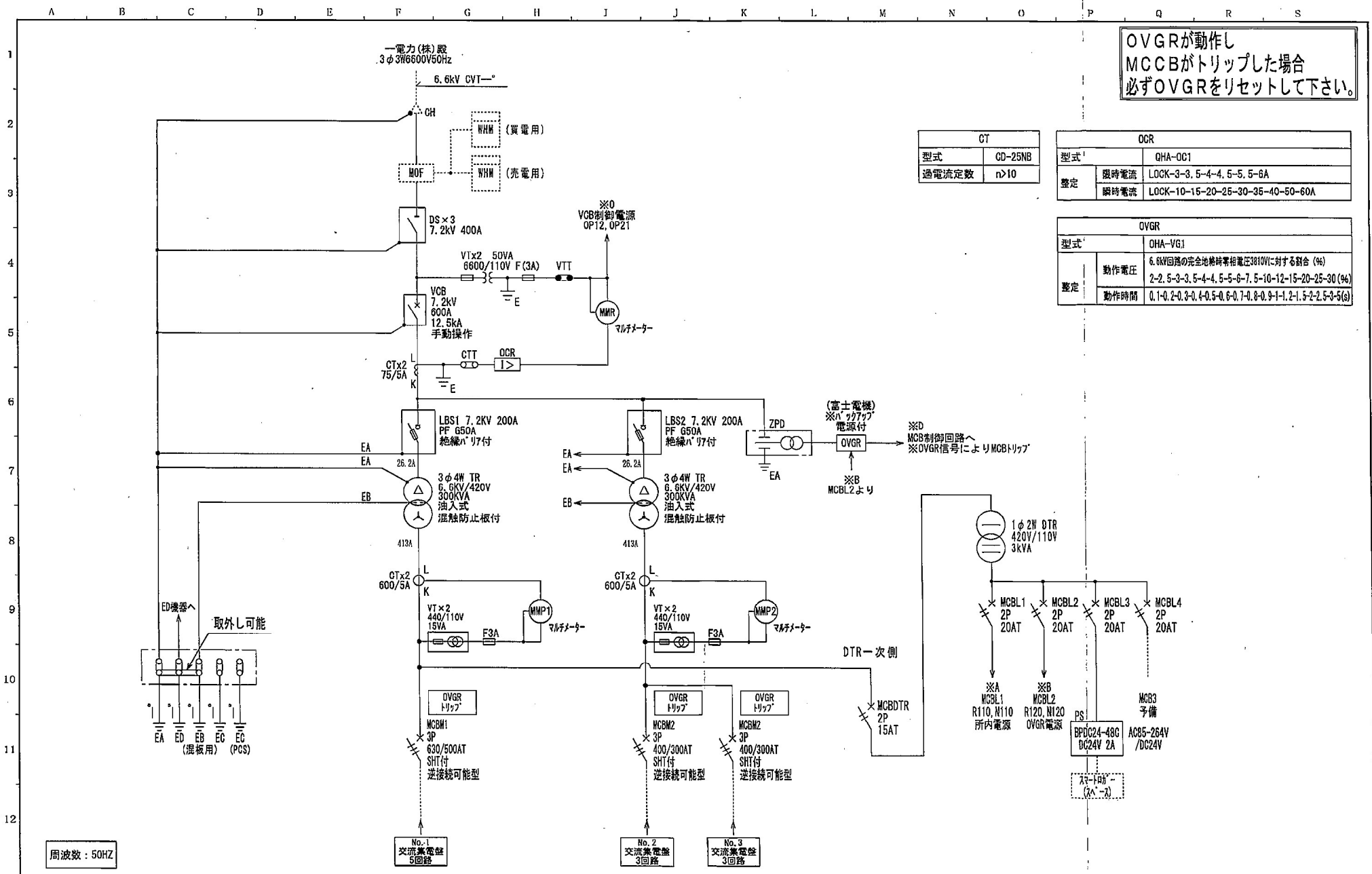


C-C' 矢視図



D-D' 矢視図

型式	ハンドル	塗装色	製図	設計	検図	承諾	納入先 埼玉県東松山市大字亀ノ甲3130-4他ノ一発電所	品名	数量 1面
本体		外面	[Redacted]				尺度 1/20	製図年月日 2025/4/7	図面番号
扉		内面						⊕ 工藤電設株式会社	ページ 4/9
中板		単位 mm 第三角法						KD02504-04-01	



OVGRが動作し
MCCBがトリップした場合
必ずOVGRをリセットして下さい。

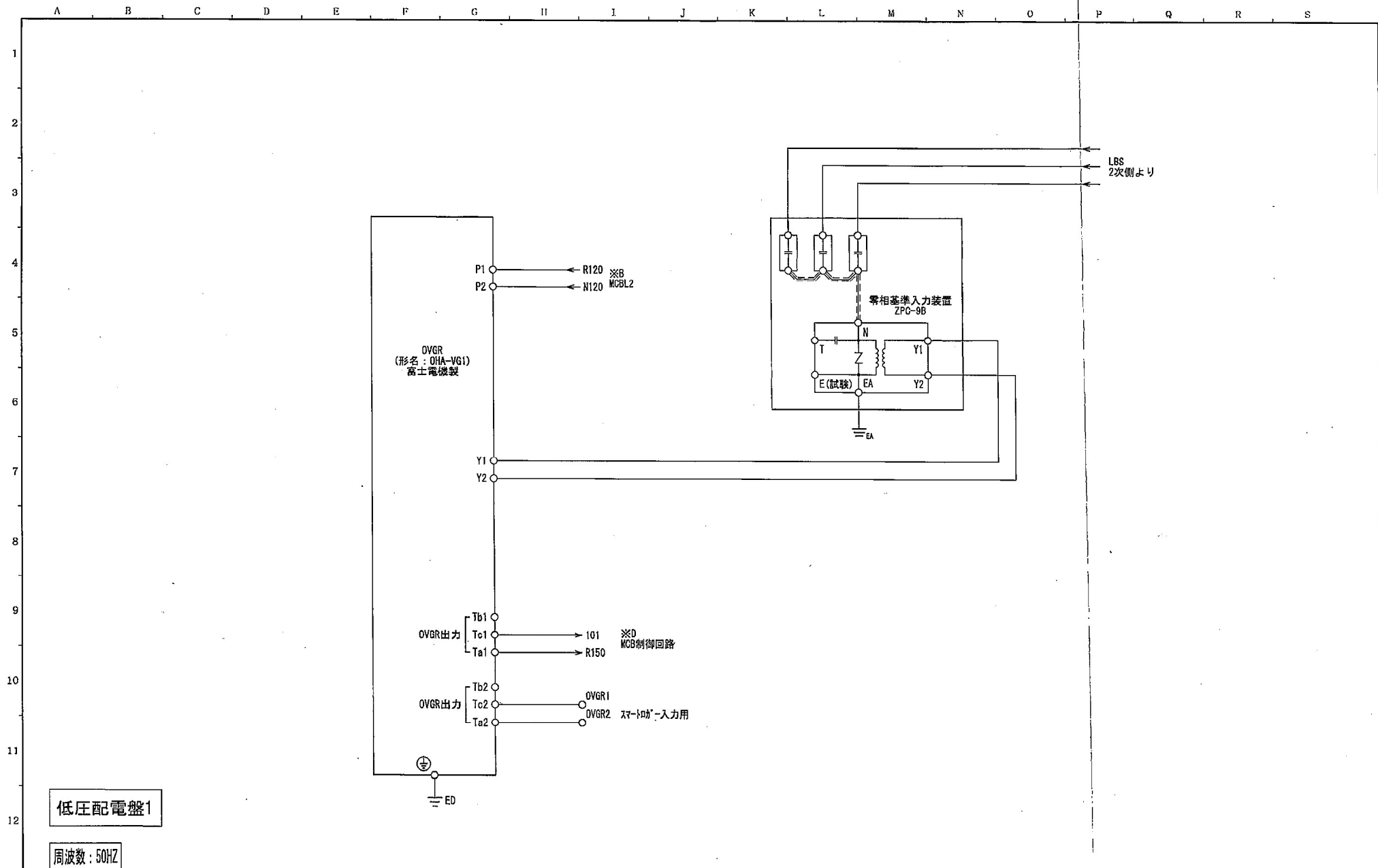
CT	
型式	GD-25NB
過電流定数	n>10

OCR	
型式	OHA-OC1
整定	短時電流 LOCK-3-3, 5-4-4, 5-5, 5-6A 瞬時電流 LOCK-10-15-20-25-30-35-40-50-60A

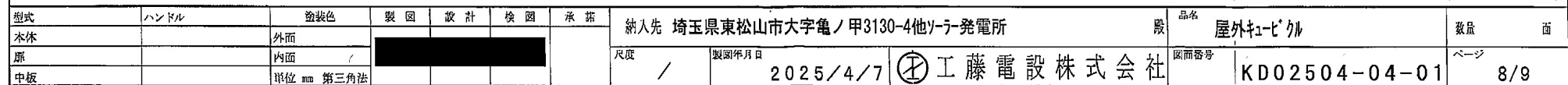
OVGR	
型式	OHA-VG.1
整定	動作電圧 6.6kV回路の完全地絡時零相電圧3810Vに対する割合(%) 2-2, 5-3-3, 5-4-4, 5-5-6-7, 5-10-12-15-20-25-30(%) 動作時間 0.1-0.2-0.3-0.4-0.5-0.6-0.7-0.8-0.9-1.2-1.5-2-2.5-3-5(s)

周波数: 50HZ

型式	ハンドル	塗装色	製 国	設 計	検 査	承 諾	納入先 埼玉県東松山市大字亀ノ甲3130-4他ソーラー発電所		品名	屋外キュービクル		数量	面
本体		外面					尺 度		製造年月日	図面番号	ページ		
扉		内面					/		2025/4/7	㊦ 工藤電設株式会社	KD02504-04-01	5/9	
中板		単位 mm 第三角法											



型式	ハンドル	塗装色	製 図	設 計	検 図	承 諾	納入先	品名	数量	面
本体		外面					埼玉県東松山市大字亀ノ甲3130-4他7-5-発電所	屋外用		
扉		内面					尺 寸	図面番号	ページ	
中板		単位 mm 第三角法					2025/4/7	工藤電設株式会社	KD02504-04-01	7/9



マイベトエネルギー架台の使用構造材料について

使用構造部材は下記の通りである。

前述の通り、使用構造部材は中国製のGB材を使用するが、本計算書では使用材と同等の強度を持つJIS材に置き換えて計算を行う。以下にGB材とJIS材の機械的性質の比較表を記載し、JIS材に置き換えて問題ないことを示す。接合部に使用するボルトはステンレスボルト(SUS304)を使用する。

各部位に使用する材種区分を以下に示す。

支持物構成材	
使用部位	材種区分
杭	A
縦桁・横桁・斜材	B

支持物構成材接合部ボルト	
接合部	材種区分
支持物構成材	C

GB材とJIS材の比較表

以下、 は使用するGB規格を、 はGB材と同等のJIS材を示す。

①一般構造用圧延鋼材(鉄骨)

※すべて板厚が16mm以下の値を示す。

材種区分	鋼材の種類	降伏点 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	化学成分(%)				
				C	Si	Mn	P	S
A	SM490B(JIS G 3106)	325	490~610	0.20以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下
	Q355	345	470~630	0.20以下	0.55以下	1.70以下	0.035以下	0.035以下

上表に示すように引張強さと化学成分には若干の差がある。引張強さについて、490~610(JIS規格)に対して、470~630(GB規格)であり、下限値がJIS規格を下回るため、引張強度の下限値が490N/mm²以上であることを全ミルシートにて確認した上で使用します。化学成分について、Mn=1.70(GB規格)、Mn=1.65以下(JIS規格)であり、GB規格材の範囲がJIS規格材の範囲を上回っているため、納入(使用)するGB規格材がMn=1.65以下であることを全ミルシートにて確認した上で使用します。なお、ミルシートはメーカーの工場出荷前に確認することします。

②アルミニウム合金材

材種区分	合金番号・質別	降伏点 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	化学成分(%)							
				Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	Ti
B	6005A-T5(JIS H 4100)	200	250	0.50~0.9	≤0.35	≤0.30	≤0.50	0.40~0.7	≤0.30	≤0.20	≤0.10
	A6005-T5	240	260	0.60~0.9	≤0.35	≤0.10	≤0.10	0.40~0.6	≤0.10	≤0.10	≤0.10

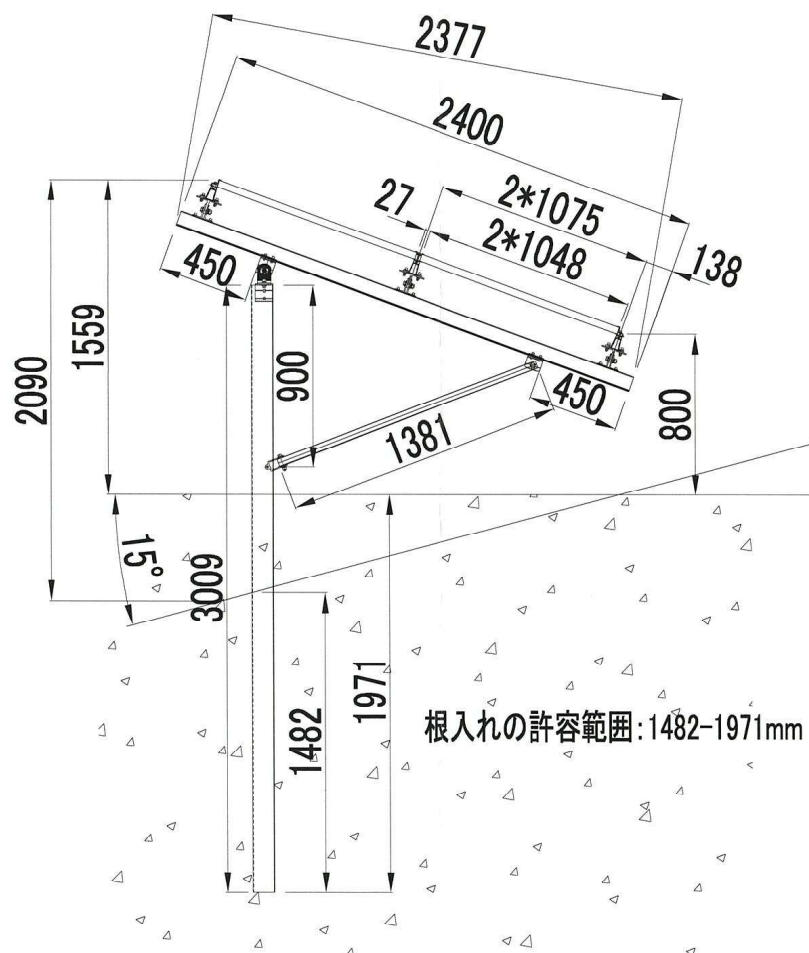
③ステンレスボルト

材種区分	ボルト	規格	材料	降伏点 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)
C	A2-70	JIS B 1054-1	ステンレス材	450	700	-
		ISO3506-1	ステンレス材	450	700	-

材種区分	ボルト	化学成分(%)							
		C	Mn	P	S	Si	Cr	B	Ni
C	A2-70	0.1	2	0.05	0.03	1	1.5~2.0	-	8~19
		0.1	2	0.05	0.03	1	1.5~2.0	-	8~19

注意事項:

- 1.実際の杭長さは杭の載荷試験の結果によってお決めください。
- 2.設置時、前後ベースの高度公差は20mm以内にしてください。



迈贝特(厦门)新能源有限公司
Mibet (XiaMen) New Energy Co.,ltd.

製品名	NPQT2	案件番号	PJ-221102-20
案件名	埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130-4,他 852.18kW		

設計条件

モジュール	2108*1048*35	出力	420W	角度	20°
基準風速	30m/s	垂直積雪量	30cm	配列	
地表面粗度区分	Ⅲ	設計基準	JIS C 8955:2017		

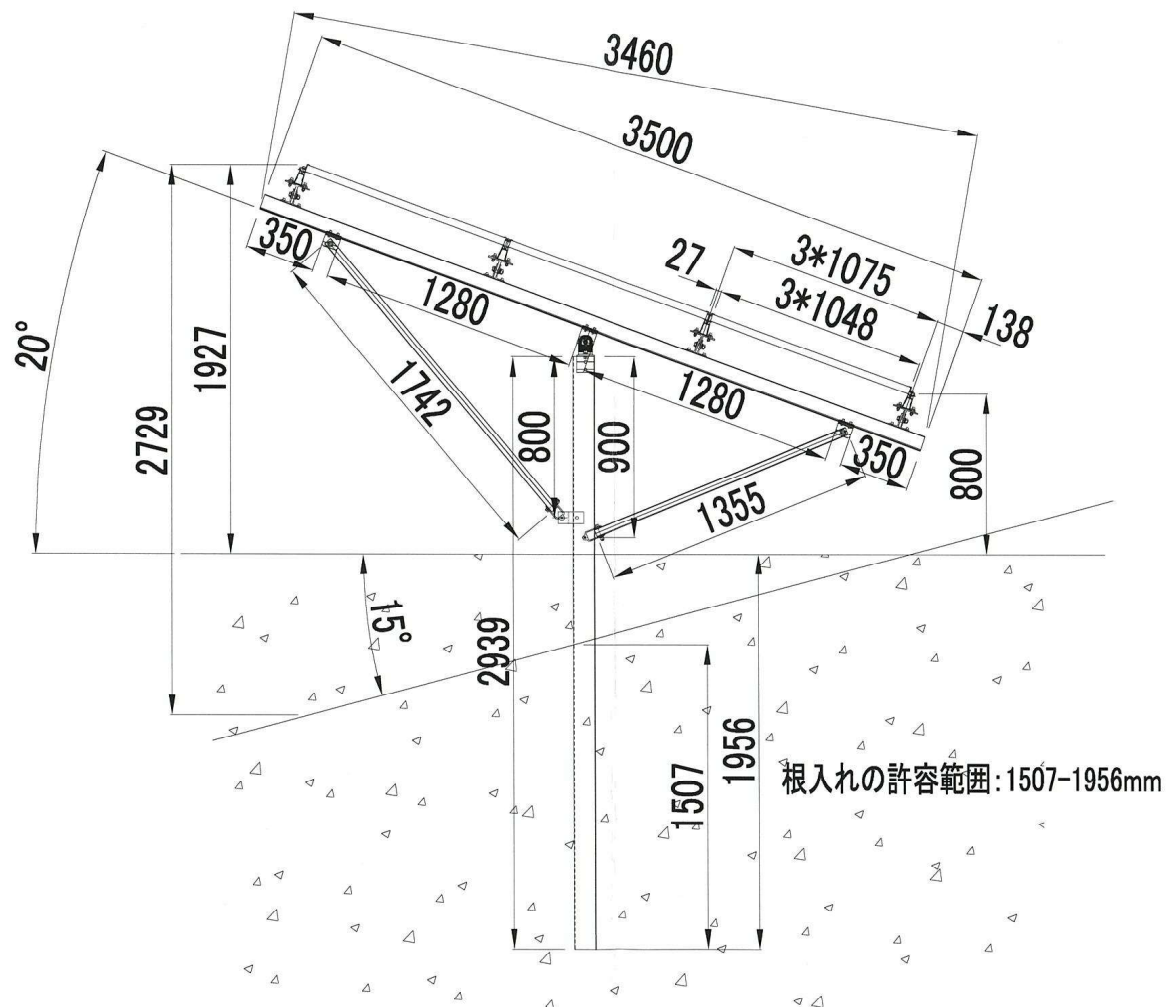
設計	検図	承認

Do Not Scale Drawing

視角	比率 1:1
作成日付	2025-3-24
番号	V01

注意事項:

- 1.実際の杭長さは杭の載荷試験の結果によってお決めください。
- 2.設置時、前後ベースの高度公差は20mm以内にしてください。



迈贝特(厦門)新能源有限公司
Mibet (XiaMen) New Energy Co.,ltd.

製品名	NPGT2	案件番号	PJ-221102-20
案件名	埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130-4,他 852.18kW		

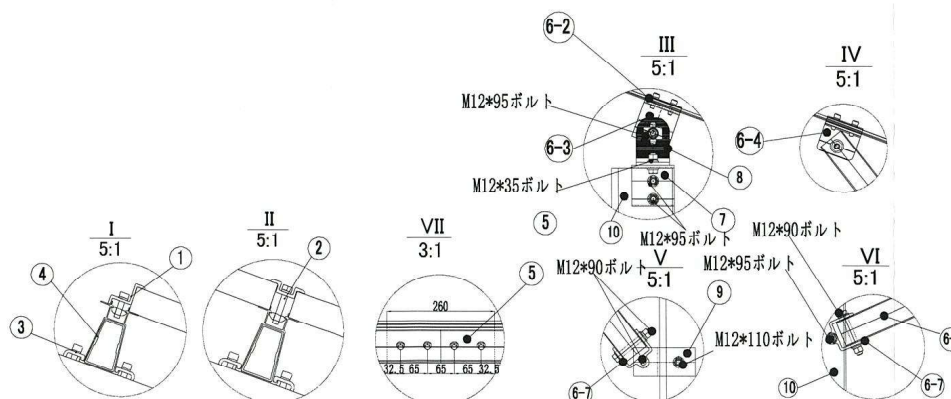
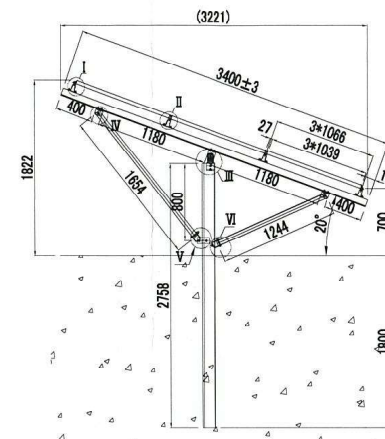
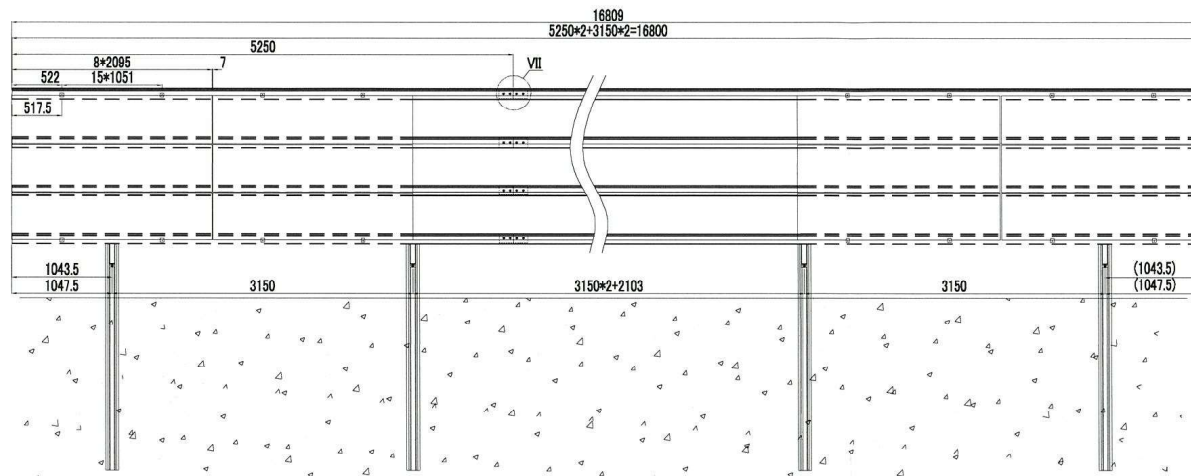
設計条件

モジュール	2108*1048*35	出力	420W	角度	20°
基準風速	30m/s	垂直積雪量	30cm	配列	
地表面粗度区分	Ⅲ	設計基準	JIS C 8955:2017		

設計	検図	承認	Do Not Scale Drawing
			視角 比率 1:1
			作成日付 2025-3-24 番号 V01

注意事項:

- 1.実際の杭長さは杭の載荷試験の結果によってお決めください。
- 2.設置時、前後ベースの高度公差は20mm以内にしてください。



迈贝特(厦门)新能源有限公司
Mibet (XiaMen) New Energy Co.,Ltd.

製品名 MAGT2 案件番号
案件名 参考用図面

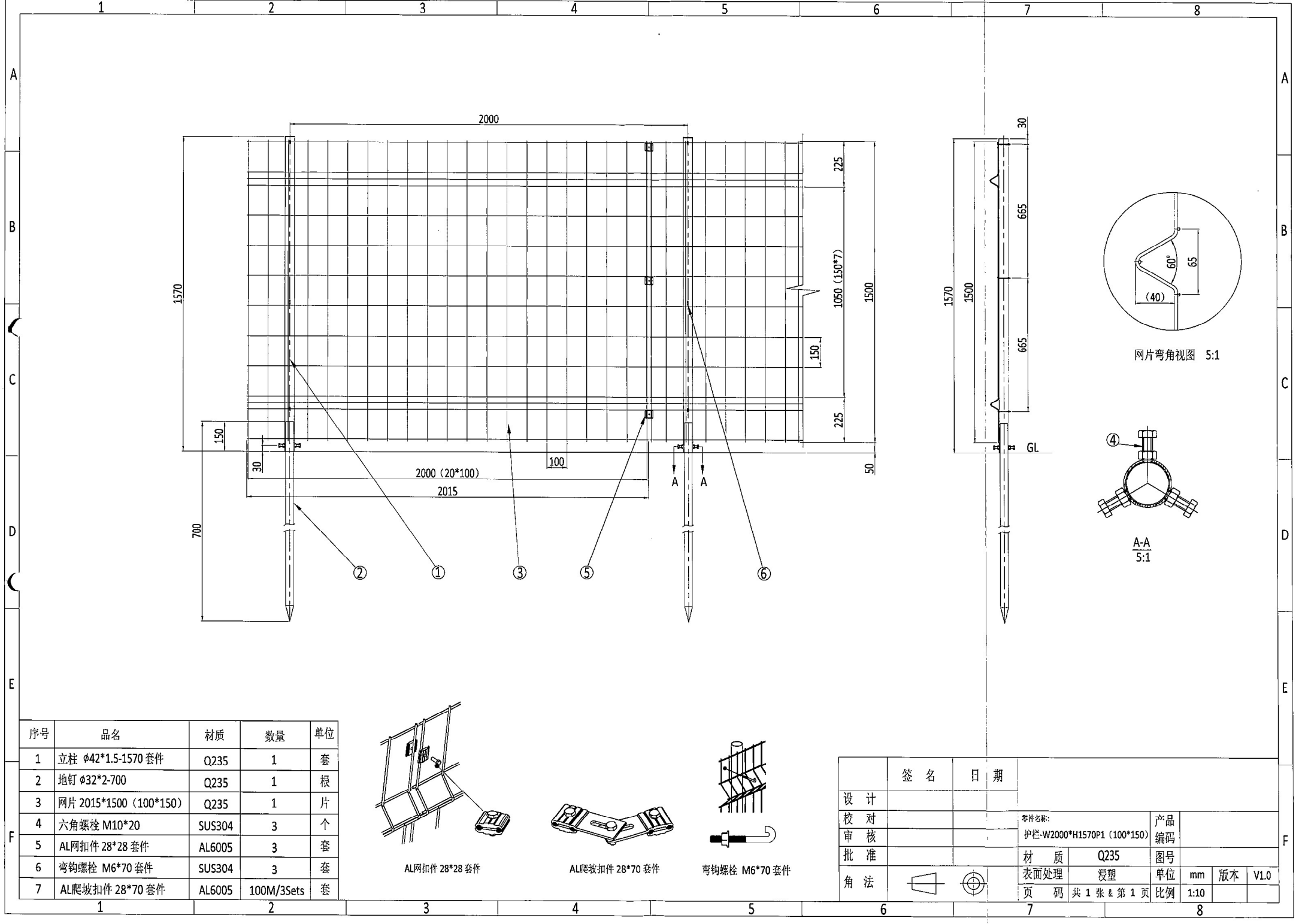
設計条件

モジュール	2095*1039*35	出力	450W	角度	20°
基準風速	30m/s	垂直積雪量	63cm	配列	3*8*1
地表面粗度区分	II	設計基準	JIS C 8955:2017		

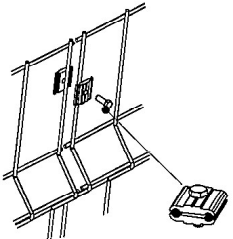
設計 検図 承認

Do Not Scale Drawing

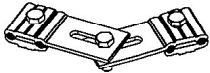
視角 比率 1:1
作成日付 2021-05-13 番号 V01



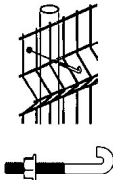
序号	品名	材质	数量	单位
1	立柱 $\phi 42 \times 1.5-1570$ 套件	Q235	1	套
2	地钉 $\phi 32 \times 2-700$	Q235	1	根
3	网片 2015*1500 (100*150)	Q235	1	片
4	六角螺栓 M10*20	SUS304	3	个
5	AL网扣件 28*28 套件	AL6005	3	套
6	弯钩螺栓 M6*70 套件	SUS304	3	套
7	AL爬坡扣件 28*70 套件	AL6005	100M/3Sets	套



AL网扣件 28*28 套件

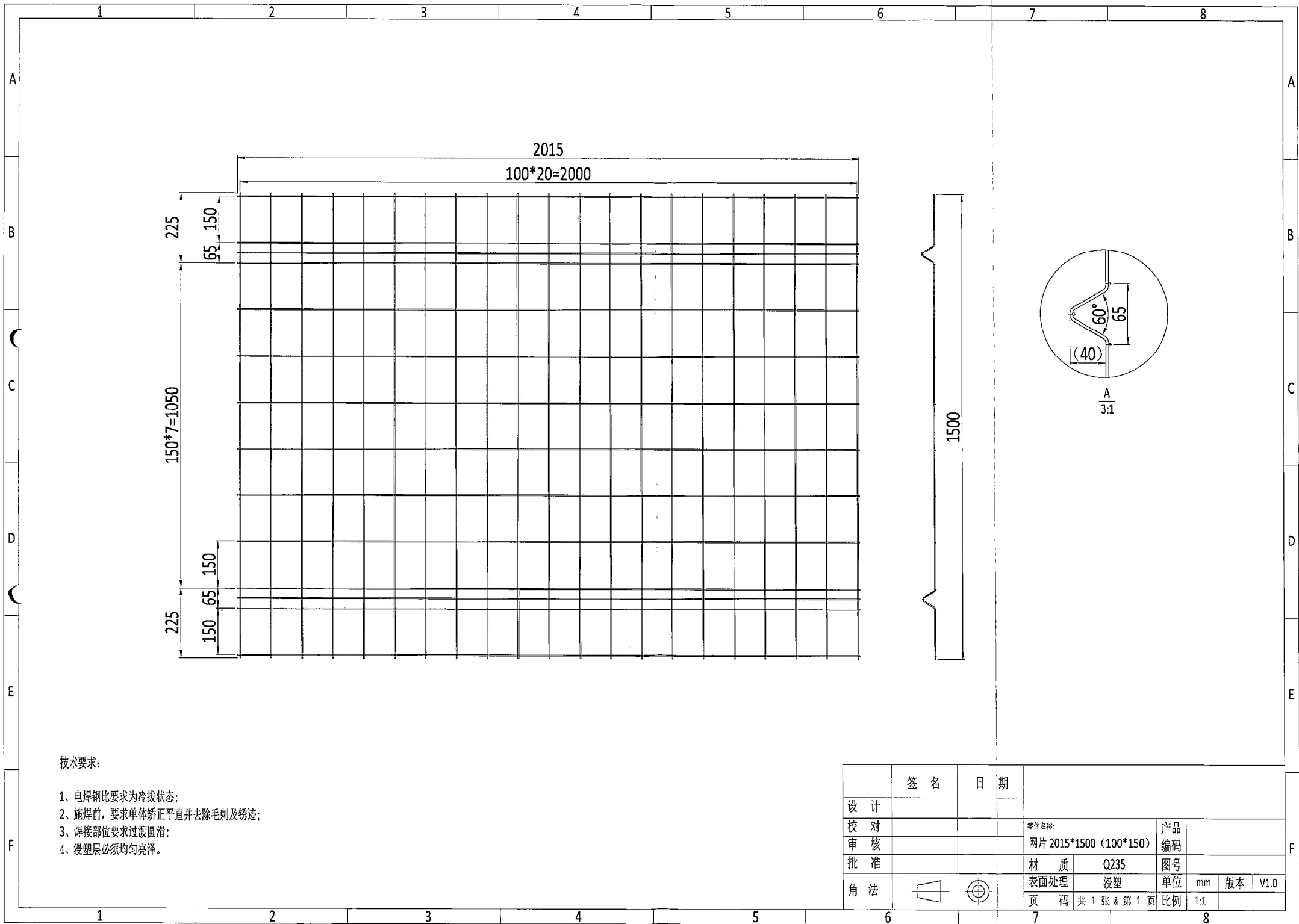


AL爬坡扣件 28*70 套件



弯钩螺栓 M6*70 套件

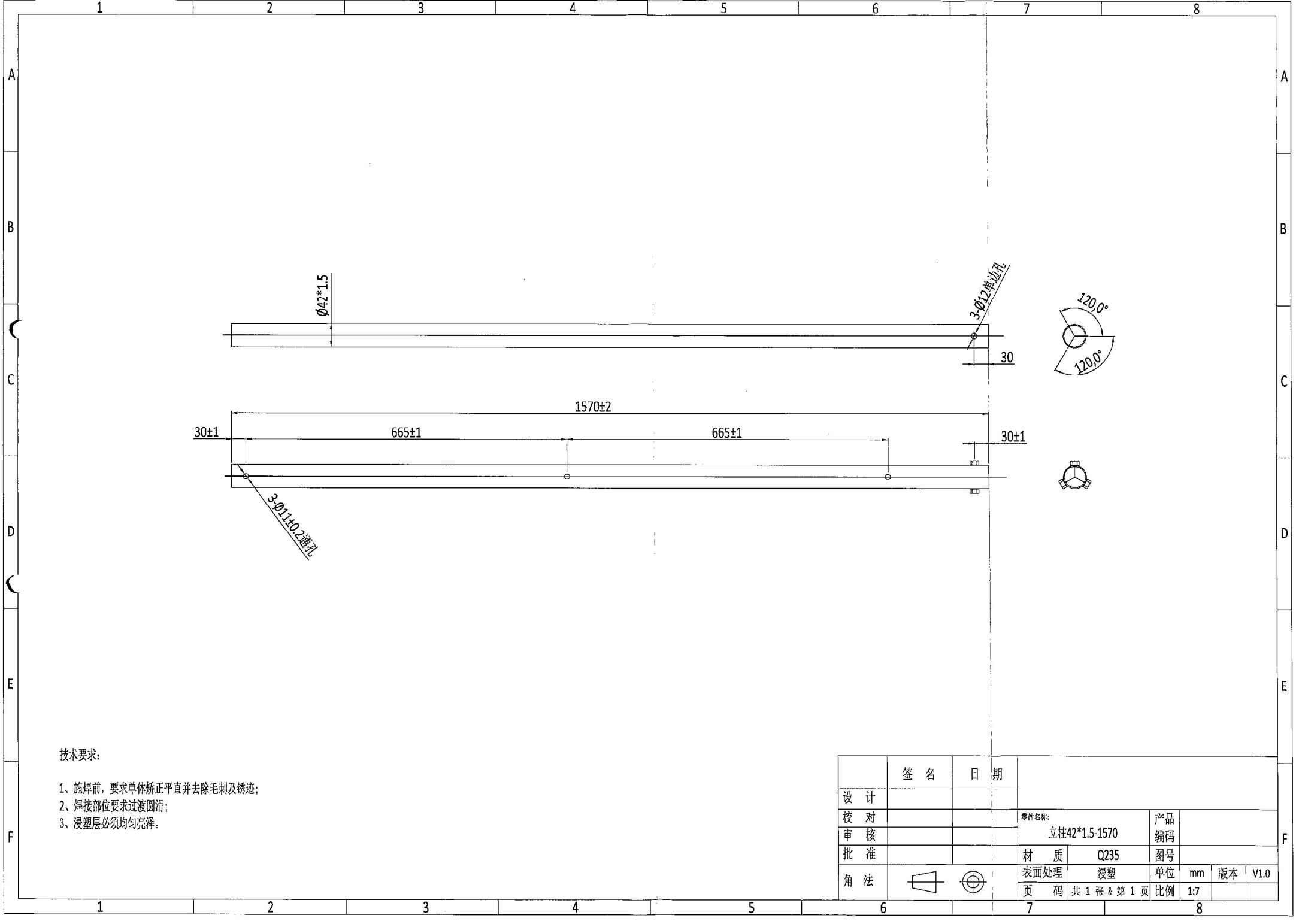
	签 名	日 期				
设 计						
校 对						
审 核						
批 准						
角 法						
			零件名称:	产品		
			护栏-W2000*H1570P1 (100*150)	编码		
			材 质	Q235	图号	
			表面处理	浸塑	单位	mm
			页 码	共 1 张 & 第 1 页	比例	1:10
			版本	V1.0		



技术要求:

- 1、电焊钢比要求为冷拔状态;
- 2、施焊前,要求单体矫正平直并去除毛刺及锈迹;
- 3、焊接部位要求过渡圆滑;
- 4、浸塑层必须均匀亮泽。

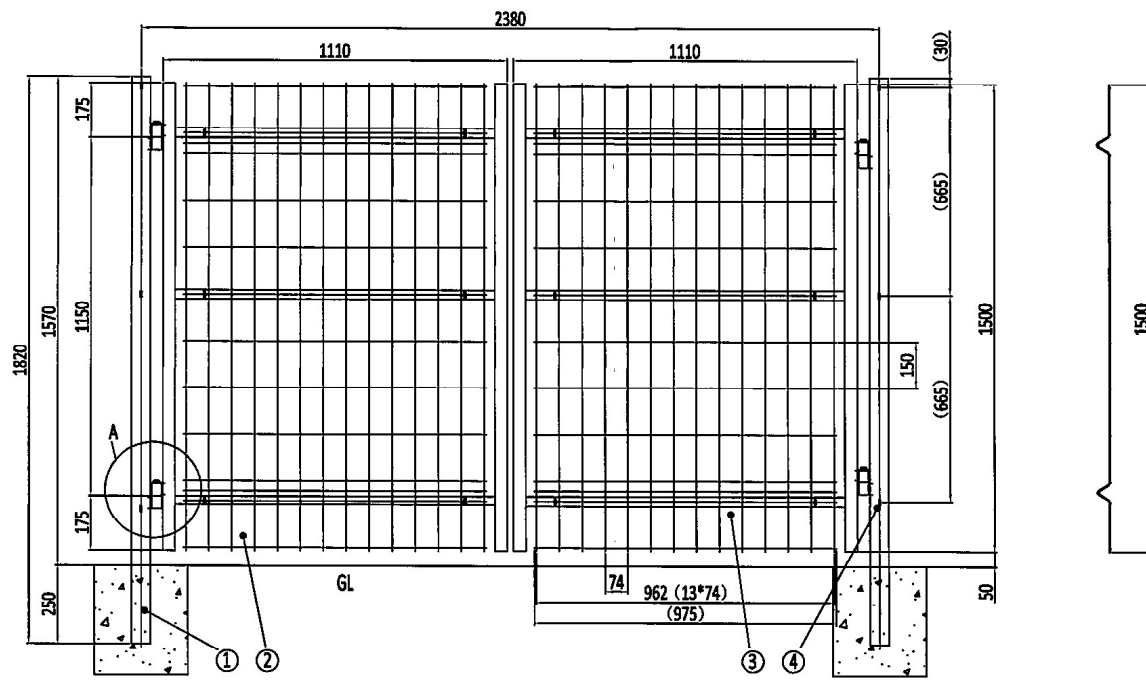
	签 名	日 期				
设 计						
校 对						
审 核						
批 准						
角 法						
			零件名称:		产品	
			网片 2015*1500 (100*150)		编码	
			材 质	Q235	图号	
			表面处理	浸塑	单位	mm
			页 码	共 1 张 & 第 1 页	比例	1:1
					版本	V1.0



技术要求:

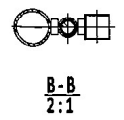
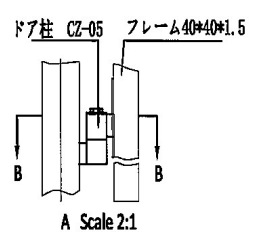
- 1、施焊前,要求单体矫正平直并去除毛刺及锈迹;
- 2、焊接部位要求过渡圆滑;
- 3、浸塑层必须均匀亮泽。

	签 名	日 期				
设 计						
校 对						
审 核						
批 准						
角 法						
			零件名称:		产 品	
			立柱42*1.5-1570		编 码	
			材 质	Q235	图 号	
			表面处理	浸塑	单 位	mm
			页 码	共 1 张 & 第 1 页	比 例	1:7
					版 本	V1.0



基礎寸法: ≧ L500*W500*H800

番号	品名	材質	数量
1	ドア柱φ60*1820	Q235	2
2	ドアフェンスW1100*H1500 (L)	Q235	1
	フェンスW975*H1500	Q195	1
	フックボルトM6*60	SUS304	6
3	ドアフェンスW1100*H1500 (R)	Q235	1
	フェンスW975*H1500	Q195	1
	フックボルトM6*60	SUS304	6
4	フックボルトM6*80	SUS304	6



品名		両開き扉H1570*W2380	材質	Q235
表面処理	塗装	単位	mm	版本



2025/04/25 19:24 現在の情報です。

栃木県佐野市高萩町867番地2
株式会社本田パワー

会社法人等番号	0600-01-031609		
商号	株式会社本田パワー		
本店	栃木県佐野市高萩町867番地2		
公告をする方法	官報に掲載してする。		
会社成立の年月日	令和1年5月24日		
目的	1. 再生可能エネルギー発電設備の開発、販売、販売の仲介、賃貸、管理 2. 再生可能エネルギー発電の買取、卸売、小売 3. 再生可能エネルギー発電設備による発電事業 4. 不動産の販売、販売の仲介、賃貸、管理 5. 前各号に附帯関連する一切の業務		
発行可能株式総数	5万株		
発行済株式の総数 並びに種類及び数	発行済株式の総数 1万株		
資本金の額	金1万円		
株式の譲渡制限に 関する規定	当会社の株式を譲渡により取得するには、株主総会の承認を受けなければなら ない。		
役員に関する事項	取締役 大森和人	令和1年12月1日就任	
		令和1年12月10日登記	
	千葉県佐倉市下志津906番地3 代表取締役 大森和人	令和1年12月1日就任	
		令和1年12月10日登記	
登記記録に関する 事項	設立		令和1年5月24日登記

*下線のあるものは抹消事項であることを示す。

【受電地点特定番号 0310122041503518089701】

2019年11月22日

株式会社本田パワー 様

東京電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター

接 続 契 約 の ご 案 内

毎度お引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

このたびは接続契約に関するお申込みをいただきありがとうございます。

つきましては、2019年9月27日 No. MS19GHZ053001 にて、お申込みいただきました内容について、協議をさせていただきました結果を下記のとおりご案内申し上げます。

記

発電場所	埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130番地 4				
発電所名	亀ノ甲3130ー4他ソーラー発電所		標準電圧	6,000 ボルト	
接続開始予定日	2021年10月30日				
発電出力	499.0 キロワット	再生可能エネルギー 発電設備	太陽光	発電設備	849.6 キロワット
				インバータ	499.0 キロワット
最大受電電力	499 キロワット				
その他の 自家発電設備等	設置なし				
工事費負担金	再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱（以下「契約要綱」といいます。）による工事費負担金（概算額） 				

以 上

2019年11月22日

株式会社本田パワー 様

東京電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター

電力受給契約申込みにかかる工事費負担金（概算額）での接続契約締結に関するお知らせ

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、過日、再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱（2017年4月1日実施）にもとづき、電力受給契約申込みをいただいておりますが、当該電力受給契約申込みにおける接続契約締結につきまして、下記のとおりお知らせさせていただきますので、内容のご確認ならびにご理解のほどよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 対象お申込み

- ・ 発電者さまご名義：株式会社本田パワー
- ・ 発電場所：埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130番地4
- ・ 発電所名：亀ノ甲3130-4他ソーラー発電所
- ・ 発電出力：499.0 キロワット

2. 具体的なお知らせ内容

- 1. に記載のお申込みにつきましては、以下の【理由】により、電力受給契約申込み受付日から6ヶ月以内に、詳細な設計完了後に算出した工事費負担金（以下、「工事費負担金（詳細）」といいます。）による接続契約の締結が難しい状況でございます。
つきましては、現時点において概算にて算出した工事費負担金（以下、「工事費負担金（概算額）」といいます。）により、接続契約を締結させていただくことといたしますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

【理 由】

当社送配電設備等の施設に伴う詳細設計等の完了に、申込受付日から6ヶ月以上の期間が必要なため。

- 工事費負担金（概算額）での接続契約締結後、認定は取得可能ですが、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法等の一部を改正する法律（以下、「改正FIT法」といいます）」にもとづき、認定取得日から運転開始期限日が設定されます。
- 工事内容ならびに工事費負担金（詳細）が確定次第、別途お知らせさせていただき、工事完了後すみやかに過不足精算させていただきます。
なお、詳細な設計の結果、当社送配電設備等の施設方法が変更となる等、工事費負担金（概算額）から不足金額が発生する場合もございます。
その場合は、工事完了後に不足金額をご請求させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

3. ご留意事項

- 認定を取得後、改正FIT法で定める運転開始期限日を超過した場合、買取期間が短縮されますが、買取期間短縮にともなう損害賠償のご相談ならびにご請求等に関しては、一切お受けいたしかねます。
- 事業譲渡等により、1. 対象お申込みについて地位の移転をされる場合には、本案内も含まれますので、本案内の内容につきましても地位を移転される発電者さま等へご説明くださいますようお願いいたします。

以上

ネットワークサービスセンター
FIT受付グループ
TEL 03-4426-5020

2021年 6 月 25 日

株式会社本田パワー 様

東京電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター

詳細設計等完了後の「工事費負担金（詳細）」のお知らせ

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、下記のお申込みにつきましては、2019年11月22日付け「電力受給契約申込みにかかる工事費負担金（概算額）での接続契約締結に関するお知らせ」のとおり接続契約を締結するにあたり工事費負担金（概算額）によりご案内させていただきましたが、この度、詳細設計等が完了いたしましたので工事費負担金（詳細）の算定結果をお知らせいたします。

敬具

記

1. 申込内容

契約名義	株式会社本田パワー
申込番号	MS19GHZ053001
発電場所	埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130番地4
発電所名	亀ノ甲3130-4 他ソーラー発電所

2. 工事費負担金について

接続契約締結時のご案内金額（工事費負担金（概算額））	【①】	■■■■■■■■■■ 円
詳細設計完了後の算定金額（工事費負担金（詳細））	【②】	■■■■■■■■■■ 円
差額	【②-①】	■■■■■■■■■■ 円
保証金額 ^{※1}	【③】	■■■■■■■■■■ 円
工事費負担金請求金額	【②-③】	■■■■■■■■■■ 円

3. 工事費負担金のご請求方法について

- お申込み時に保証金をお支払い済みの場合は、詳細設計完了後の工事費負担金（詳細）から申し受け済みの保証金を控除して、ご請求をさせていただきます。
- 当社は、本件工事の竣工後すみやかに、本件工事に要した費用を確定し、工事費負担金（詳細）との差額につきまして過不足精算させていただきます。

※1 2020年10月の「定款、業務規定及び送配電等業務指針変更の認可」に伴い、電力受給申込みの際に申し受けた金額です。

以上

ネットワークサービスセンター
TEL 03-4426-5020

【受電地点特定番号 0310122041503518089701】

2021年6月25日

株式会社本田パワー 様

東京電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター

接続契約の一部変更のご案内

株式会社本田パワーと東京電力パワーグリッド株式会社の間における接続契約について、下記のとおり一部変更することをご案内申し上げます。

記

(対象接続契約)

受付番号	MS19GHZ053001
------	---------------

(変更事項)

接続開始予定日	【変更後】 2021年11月30日 【変更前】 2021年10月30日
工事着手予定月	【変更後】 2021年9月 【変更前】 2020年5月
工事費負担金	再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱（以下「契約要綱」といいます。）による工事費負担金 【変更後】 ■■■■■円（うち消費税等相当額■■■■円） 【変更前】 ■■■■■円（うち消費税等相当額■■■■円）
工事費負担金の支払期日	【変更後】 2021年7月21日 【変更前】 2020年3月31日

※ 対象接続契約に関連する「接続契約のご案内」とあわせて大切に保管ください。

以 上

経 済 産 業 省

2020関エネ再事認第58号

2020年2月3日

株式会社本田パワー

代表取締役 本田 紀幸 殿

経済産業大臣 梶山 弘志



再生可能エネルギー発電事業計画の認定について(通知)

2019年11月26日付けをもって申請があった上記の件について、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(平成23年法律第108号)第9条第3項の規定に基づき、下記のとおり再生可能エネルギー発電事業計画の認定をしたので、通知します。

記

1. 再生可能エネルギー発電事業計画の主な内容

認定日	2020年2月3日	
設備ID	AK16373C11	
担当経済産業局	関東経済産業局	
事業者名	株式会社本田パワー	
代表者氏名	代表取締役 本田 紀幸	
事業者住所	栃木県佐野市高萩町867-2	
「地方税法第七十二条の四に規定する国及び法人」への該当	☐ 有 ☒ 無	
発電設備の区分	太陽光発電設備（10kW以上500kW未満）	
発電設備の出力	499.0kW	
発電設備の名称	亀ノ甲3130-4他ソーラー発電所	
発電設備の設置場所	埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130-4 他1筆	
太陽電池に係る事項	製造事業者名	SunPower Corporation
	種類	A1：単結晶のシリコンを用いた太陽電池
	変換効率	21.0%
	型式番号	SPR-P19-400-COM
	枚数	2,124枚
	合計出力	849.6kW
配線方法	余剰配線	

電気供給量の計測方法	単独計測
自家発電設備等の設置の有無	無し
接続契約締結日	2019年11月22日

2. 調達価格・調達期間・運転開始期限日

調達価格	14円/kWh（税抜き）
調達期間	20年間
運転開始期限日	2023年2月2日（認定日から起算して3年後の日）

3. 備考

- (1) 運転開始期限日までに、法第2条第5項に規定する特定契約に基づいて再生可能エネルギー電気の供給が開始されない場合、調達期間は、運転開始期限日から当該供給開始日までの期間を除いたものとなります。
- (2) 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則（平成24年経済産業省令第46号）第5条第1項第6号及び第7号の規定により、運転開始後1ヶ月以内に当該発電設備の設置に要した費用に関する情報等を、また、毎年1回当該発電設備の運転に要する費用に関する情報等を、「再生可能エネルギー電子申請ホームページ」により提出してください。

設置場所一覧

埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130-4、3110-6

<教示>

この処分について不服がある場合には、行政不服審査法（平成26年法律第68号）第2条の規定に基づき、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、書面により経済産業大臣に対して審査請求をすることができます。ただし、処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内であっても、処分の日の翌日から起算して1年を経過すると、処分の審査請求をすることができなくなります。

この処分についての取消しの訴えは、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、国（代表者法務大臣）を被告として提起することができます。ただし、処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分の日の翌日から起算して1年を経過したときは、処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

【受電地点特定番号 0310122041503518089701】

2021年6月25日

株式会社本田パワー 様

東京電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター

接続契約の一部変更のご案内

株式会社本田パワーと東京電力パワーグリッド株式会社の間における接続契約について、下記のとおり一部変更することをご案内申し上げます。

記

(対象接続契約)

受付番号	MS19GHZ053001
------	---------------

(変更事項)

接続開始予定日	【変更後】 2021年11月30日 【変更前】 2021年10月30日
工事着手予定月	【変更後】 2021年9月 【変更前】 2020年5月
工事費負担金	再生可能エネルギー発電設備からの電力受給契約要綱（以下「契約要綱」といいます。）による工事費負担金 【変更後】 〇〇〇〇円（うち消費税等相当額 〇〇〇〇円） 【変更前】 〇〇〇〇円（うち消費税等相当額 〇〇〇〇円）
工事費負担金の支払期日	【変更後】 2021年7月21日 【変更前】 2020年3月31日

※ 対象接続契約に関連する「接続契約のご案内」とあわせて大切に保管ください。

以 上

経 済 産 業 省

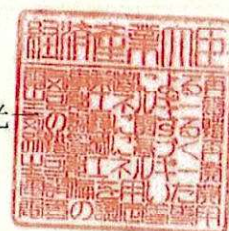
2021関エネ再事変第1215号

2022年3月15日

株式会社本田パワー

代表取締役 大森 和人 殿

経済産業大臣 萩生田 光



再生可能エネルギー発電事業計画の変更認定について(通知)

2021年12月15日付けをもって申請があった上記の件について、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第10条第4項において準用する同法第9条第3項（第5号イ及びハを除く。）の規定に基づき、下記のとおり再生可能エネルギー発電事業計画の変更の認定をしたので、通知します。

記

1. 再生可能エネルギー発電事業計画の主な内容

認定日	2020年2月3日
変更認定日	2022年3月15日
設備ID	AK16373C11
担当経済産業局	関東経済産業局
事業者名	株式会社本田パワー
代表者氏名	代表取締役 大森 和人
事業者住所	栃木県佐野市高萩町867-2
「地方税法第七十二条の四に規定する国及び法人」への該当	☐ 有 ☒ 無
発電設備の区分	太陽光発電設備（10kW以上2,000kW未満）
発電設備の出力	499.0kW
発電設備の名称	亀ノ甲3130-4他ソーラー発電所
パワーコンディショナーの自立運転機能の有無	☐ 有（ kW） 自立運転機能： kW ☒ 無
給電用コンセントの有無	☐ 有 ☒ 無
発電設備の設置場所	埼玉県東松山市大字大谷字亀ノ甲3130-4、3110-6
農地一時転用許可申請予定の有無	☐ 有 ☒ 無

太陽電池に係る事項	製造事業者	カナディアン・ソーラー
	種類	A 2 : 多結晶のシリコンを用いた太陽電池
	変換効率	21.1% (実効変換効率)
	型式番号	CS3W-420P
	枚数	2,029枚
	合計出力	852.1kW
配線方法		余剰配線
電気供給量の計測方法		単独計測
自家発電設備等の設置の有無		無
自家消費等計画 (自家消費等の比率)		—%

2. 備考

- (1) 平成29年経済産業省告示第35号に規定する法第10条第1項の経済産業大臣の変更の認定への該当の有無：☐有 ☒無
- (2) 本認定には、変更前に適用されていた調達価格が適用されます。
- (3) 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則（平成24年経済産業省令第46号）第5条第1項第6号及び第7号の規定により、運転開始後1ヶ月以内に当該発電設備の設置に要した費用に関する情報等を、また、毎年1回当該発電設備の運転に要する費用に関する情報等を、「再生可能エネルギー電子申請ホームページ」により提出してください。

< 教示 >

この処分について不服がある場合には、行政不服審査法（平成26年法律第68号）第2条の規定に基づき、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、書面により経済産業大臣に対して審査請求をすることができます。ただし、処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内であっても、処分の日の翌日から起算して1年を経過すると、処分の審査請求をすることができなくなります。

この処分についての取消しの訴えは、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、国（代表者法務大臣）を被告として提起することができます。ただし、処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、処分の日の翌日から起算して1年を経過したときは、処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

廃棄物が地下にある土地の指定区域一覧

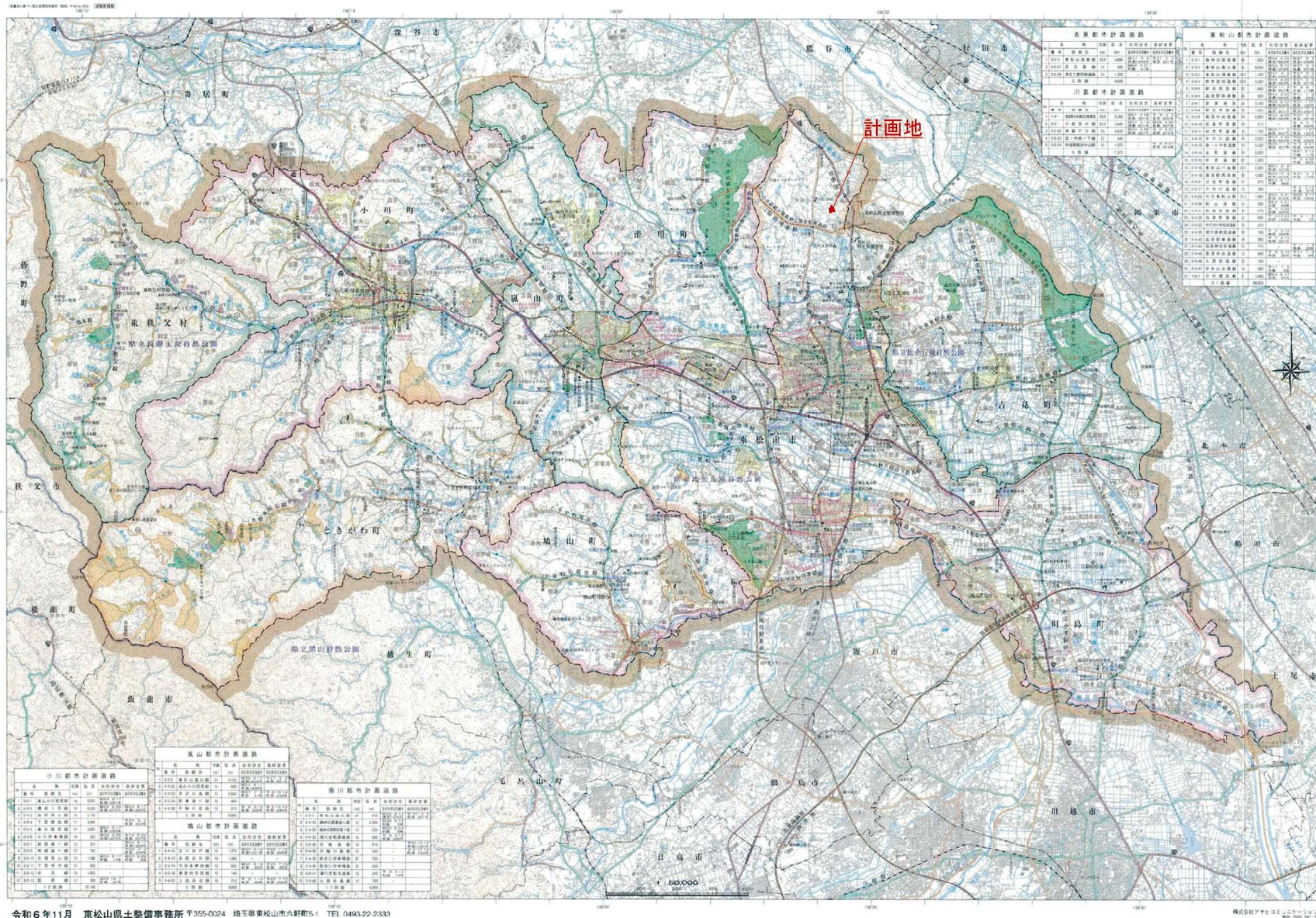
指定番号	指定区域	埋立地の区分
一一一	熊谷市成沢字谷ツ向723番の一部 熊谷市押切字大原24246番1の一部	規則第12条の31第1号
一一二	熊谷市小江川字唐篠谷111番1の一部	規則第12条の31第1号
一一三	行田市大字小針字埜通891番1、895番1、902番1の各一部	令第13条の2第2号
一一四	本庄市児玉町秋山字諏訪平556番の一部	令第13条の2第2号
一一五	鴻巣市大間字内谷1104番、1105番、1106番1、1107番1、 1108番1、1109番1、1110番1の各一部	令第13条の2第2号
一一六	鴻巣市糠田字本田五ノ割2578番1、2578番2、2579番1の各一部	規則第12条の31第1号
一一七	深谷市上柴町東五丁目9番1、9番2の各一部	規則第12条の31第1号
一一八	深谷市上野台字流レ2550番1、2550番2、2551番1、 2551番3、2551番4、2551番5の各一部	規則第12条の31第1号
	深谷市上野台字流レ2547番1、2547番2、2560番1、 2548番、2549番、2550番1、2550番2の各一部	
一一九	深谷市折之口字稜威ヶ原1899番1の一部	規則第12条の31第1号
一一一〇	深谷市起会字唐言114番4、117番1、162番1の各一部	規則第12条の31第1号
一一一一	深谷市人見字政所1560番の一部	規則第12条の31第1号
一一一二	深谷市樫合字向久保763番の一部	規則第12条の31第1号
一一一三	三郷市幸房字掛井堀向1311番1、1311番2、1312番1、 1312番2の各一部	規則第12条の31第1号
一一一四	入間郡三芳町大字上富字緑1582番1の一部	規則第12条の31第1号
一一一五	入間郡三芳町大字上富字緑1582番2の一部	規則第12条の31第1号
一一一六	北埼玉郡騎西町大字戸崎字広島992番の一部	令第13条の2第2号

令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

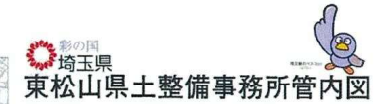
規則：廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則

※廃棄物の処理及び清掃に関する法律第2条1項の廃棄物が不法に投棄又は残置されている区域に該当無し

禁止区域の該当の有無を確認した書類



令和6年11月 東松山県土整備事務所 〒355-0024 埼玉県東松山市六軒町5-1 TEL 0493-22-2333



凡 例			
◎ 高速公路	▲ 水利 (大型灌溉區)	1 步道	◎
◎ 一般國道	▲ 水利 (大型灌溉區)	2 步道	◎
◎ 主要地方道	◎ 縣指定區域	◎ 市道	◎
◎ 一般鄉道	◎ 湖沼區域 (沼澤)	◎ 鄉村道路	◎
◎ 山莊專用	◎ 河川保護區	◎ 關係資料	◎
◎ 附屬、支線中斷	◎ 急傾斜地	◎ 學校	◎
◎ 附屬、支線通過	◎ 地質、水文地質	◎ 遊樂	◎
◎ 附屬、支線	◎ 計畫未來	◎ 交通未來	◎
◎ 附屬、支線	◎ 商業化區域	◎ R2D中區域	◎
◎ 步	◎ 商業化區域	◎ 都市公園	◎

道 路 表				(各線別キロメートル)	
路線	起 点	終 点	距離 (公里)	一般	高速
① 一般国道第1号	1957.10.1	20.920km	② 日本国道第1号	302km	
② 一般国道第2号	1957.10.1	4.760km	③ 日本国道第2号	3.2km	
③ 一般国道第3号	1958.10.1	4.514km	④ 日本国道第3号	4.494km	
④ 一般国道第4号	1958.10.1	4.760km	⑤ 日本国道第4号	380km	
⑤ 一般国道第5号	1958.10.1	4.760km	⑥ 日本国道第5号	6.720km	
⑥ 一般国道第6号	1958.10.1	4.760km	⑦ 日本国道第6号	2.720km	
⑦ 一般国道第7号	1958.10.1	4.760km	⑧ 日本国道第7号	2.720km	
⑧ 一般国道第8号	1958.10.1	4.760km	⑨ 日本国道第8号	2.720km	
⑨ 一般国道第9号	1958.10.1	4.760km	⑩ 日本国道第9号	2.720km	
⑩ 一般国道第10号	1958.10.1	4.760km	⑪ 日本国道第10号	2.720km	
⑪ 一般国道第11号	1958.10.1	4.760km	⑫ 日本国道第11号	2.720km	
⑫ 一般国道第12号	1958.10.1	4.760km	⑬ 日本国道第12号	2.720km	
⑬ 一般国道第13号	1958.10.1	4.760km	⑭ 日本国道第13号	2.720km	
⑭ 一般国道第14号	1958.10.1	4.760km	⑮ 日本国道第14号	2.720km	
⑮ 一般国道第15号	1958.10.1	4.760km	⑯ 日本国道第15号	2.720km	
⑯ 一般国道第16号	1958.10.1	4.760km	⑰ 日本国道第16号	2.720km	
⑰ 一般国道第17号	1958.10.1	4.760km	⑱ 日本国道第17号	2.720km	
⑱ 一般国道第18号	1958.10.1	4.760km	⑲ 日本国道第18号	2.720km	
⑲ 一般国道第19号	1958.10.1	4.760km	⑳ 日本国道第19号	2.720km	
⑳ 一般国道第20号	1958.10.1	4.760km	㉑ 日本国道第20号	2.720km	
㉑ 一般国道第21号	1958.10.1	4.760km	㉒ 日本国道第21号	2.720km	
㉒ 一般国道第22号	1958.10.1	4.760km	㉓ 日本国道第22号	2.720km	
㉓ 一般国道第23号	1958.10.1	4.760km	㉔ 日本国道第23号	2.720km	
㉔ 一般国道第24号	1958.10.1	4.760km	㉕ 日本国道第24号	2.720km	
㉕ 一般国道第25号	1958.10.1	4.760km	㉖ 日本国道第25号	2.720km	
㉖ 一般国道第26号	1958.10.1	4.760km	㉗ 日本国道第26号	2.720km	
㉗ 一般国道第27号	1958.10.1	4.760km	㉘ 日本国道第27号	2.720km	
㉘ 一般国道第28号	1958.10.1	4.760km	㉙ 日本国道第28号	2.720km	
㉙ 一般国道第29号	1958.10.1	4.760km	㉚ 日本国道第29号	2.720km	
㉚ 一般国道第30号	1958.10.1	4.760km	㉛ 日本国道第30号	2.720km	
㉛ 一般国道第31号	1958.10.1	4.760km	㉜ 日本国道第31号	2.720km	
㉜ 一般国道第32号	1958.10.1	4.760km	㉝ 日本国道第32号	2.720km	
㉝ 一般国道第33号	1958.10.1	4.760km	㉞ 日本国道第33号	2.720km	
㉞ 一般国道第34号	1958.10.1	4.760km	㉟ 日本国道第34号	2.720km	
㉟ 一般国道第35号	1958.10.1	4.760km	㊱ 日本国道第35号	2.720km	
㊱ 一般国道第36号	1958.10.1	4.760km	㊲ 日本国道第36号	2.720km	
㊲ 一般国道第37号	1958.10.1	4.760km	㊳ 日本国道第37号	2.720km	
㊳ 一般国道第38号	1958.10.1	4.760km	㊴ 日本国道第38号	2.720km	
㊴ 一般国道第39号	1958.10.1	4.760km	㊵ 日本国道第39号	2.720km	
㊵ 一般国道第40号	1958.10.1	4.760km	㊶ 日本国道第40号	2.720km	
㊶ 一般国道第41号	1958.10.1	4.760km	㊷ 日本国道第41号	2.720km	
㊷ 一般国道第42号	1958.10.1	4.760km	㊸ 日本国道第42号	2.720km	
㊸ 一般国道第43号	1958.10.1	4.760km	㊹ 日本国道第43号	2.720km	
㊹ 一般国道第44号	1958.10.1	4.760km	㊺ 日本国道第44号	2.720km	
㊺ 一般国道第45号	1958.10.1	4.760km	㊻ 日本国道第45号	2.720km	
㊻ 一般国道第46号	1958.10.1	4.760km	㊼ 日本国道第46号	2.720km	
㊼ 一般国道第47号	1958.10.1	4.760km	㊽ 日本国道第47号	2.720km	
㊽ 一般国道第48号	1958.10.1	4.760km	㊾ 日本国道第48号	2.720km	
㊾ 一般国道第49号	1958.10.1	4.760km	㊿ 日本国道第49号	2.720km	

河川名称	河 口	河 长	流域面积	平均流量	备注
1. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
2. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
3. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
4. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
5. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
6. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
7. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
8. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
9. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
10. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
11. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
12. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
13. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
14. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
15. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
16. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
17. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
18. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
19. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
20. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
21. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
22. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
23. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
24. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
25. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
26. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
27. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
28. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
29. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
30. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
31. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
32. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
33. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
34. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
35. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
36. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
37. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
38. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
39. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
40. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
41. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
42. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
43. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
44. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
45. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
46. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
47. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
48. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
49. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
50. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
51. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
52. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000
53. 大 河	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000

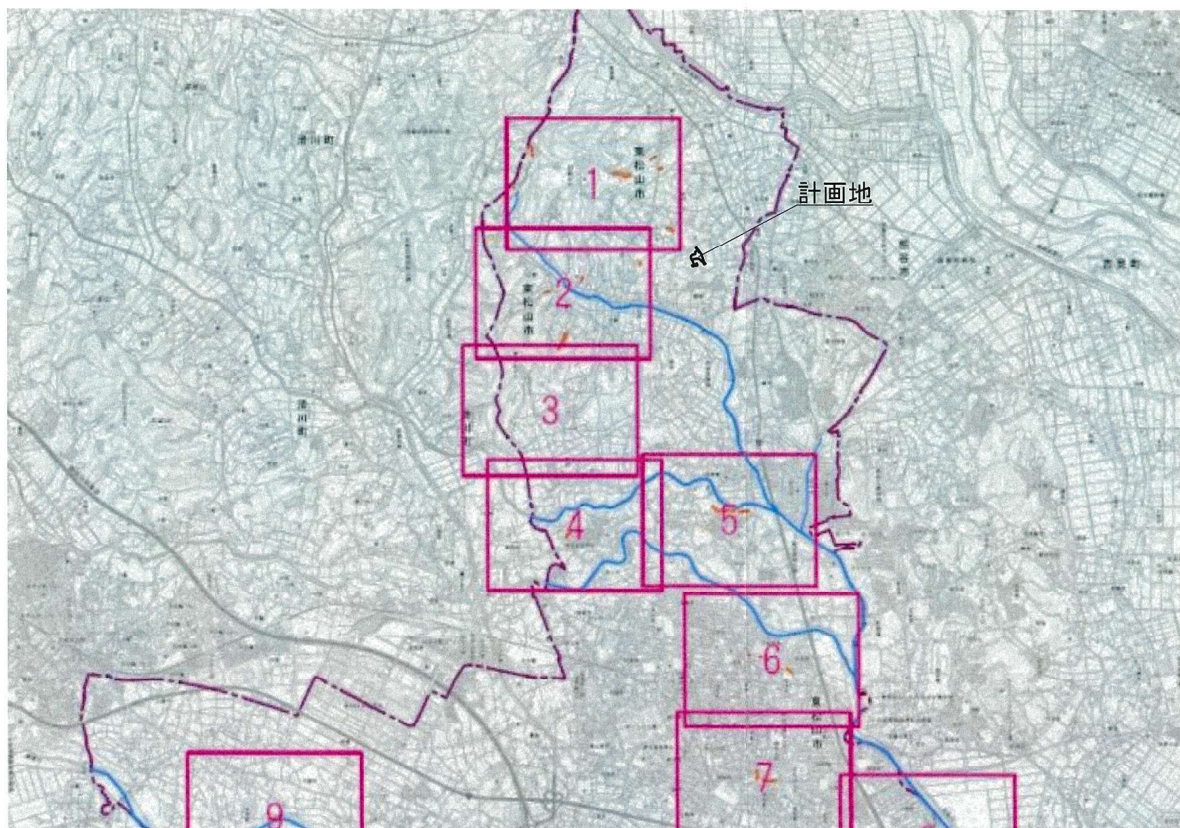
[illegible]

急傾斜地崩壊危険箇所：該当無し

砂防指定地域：該当無し

▶ 土砂災害防止法（管内指定状況）

東松山市



参照：東松山県土整備事務所 > 土砂災害防止法（管内指定状況）東松山市より

土砂災害特別警戒区域：該当無し